

モニタリング実施報告書

平成29年度（定期）（本市）モニタリング実施報告書

施設名	那覇市体育施設 (那覇市民体育館・漫湖公園市民庭球場・那覇市民首里石嶺プール)
所在地	那覇市民体育館 : 那覇市字識名 1227 番地 漫湖公園市民庭球場 : 那覇市鏡原町 37 番 1 号 那覇市民首里石嶺プール : 那覇市首里石嶺町 2 丁目 70 番地 9
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 那覇市体育協会 代表者 会長 平良 悟 住所 那覇市字識名 1227 番地 電話 (098) 853-6979
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年度間）
モニタリングの実施方針・方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施設の管理運営業務の確認にあたっては、「指定管理業務実績報告書」、毎月提出される「施設管理状況等報告書」、現地調査、利用者アンケート調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</li> <li>・その後、指定管理者選定に用いた仕様書に示されている「業務内容」「業務報告」「実績報告」等の内容に沿って作成されたモニタリングシートで確認を行い、その結果を「モニタリング総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた方針」に記載しました。</li> </ul>
担当部課(問合せ先)	教育委員会 生涯学習部市民スポーツ課 TEL : 098-917-3521 (直通) 098-867-0111 (代表) 内線 2602 E-Mail : <a href="mailto:e-s-sup001@city.naha.lg.jp">e-s-sup001@city.naha.lg.jp</a>

モニタリング総合コメント（本市）

指定管理3年目にあたる今期は、利用者への更なるサービス向上が図られていることが確認できた。

スポーツ教室では、利用者ニーズを把握し、ママと乳児を対象とした親子教室など、新たな教室を各施設で開設したことや、既設の教室も内容によって、参加しやすいように1回毎の申込みや支払いとするなど、きめ細やかな対応を図ったことで、参加者数が増となり、好評を博したことがうかがえた。

また、手すりの新たな箇所の取付けや談話室の壁修繕、トレーニング器具を増やすことで待ち時間の解消を図る等、利用者の意見や要望を反映させる施設運営を行ったことは、住民サービスの質の向上に繋がったと考える。

市民体育館では、大規模大会等における予約方法について改善を行うことによって、機能強化されたメインアリーナの積極的な利用促進を図り、利用人数及び利用収入ともに増となったことは、大きく評価される。来期の展開に期待したい。

## 今後の業務改善等に向けた方針（本市）

### 1 改善・是正事項

特になし。

### 2 課題事項

機能強化された市民体育館の利用促進について

### 3 その他

本市の厳しい財政状況を踏まえながら、老朽化する施設設備の修繕について優先順位を検討していく。

## 1 基本的考え方及び管理体制

### ・設置目的について

那覇市体育施設の設置目的である「スポーツ・レクリエーション活動等の普及及び振興並びに市民の健康及び体力の増進を図る」は、指定管理者である那覇市体育協会の設立目的と一致していることから理解が深い。設置目的に適った事業を計画し、管理運営を行っている。

### ・法令等の遵守について

管理運営を行うにあたっては、那覇市体育施設条例や規則、関係する法令等を遵守している。

### ・利用者の平等な利用の確保について

施設利用許可を適正に行い、平等な対応を行っている。特定の個人や団体に有利あるいは不利になるような取り扱いをせず、平等利用の確保を図っている。

### ・管理体制について

適切な人員配置（施設によって求められる有資格者の配置等）がされている。

AED研修や接遇研修（苦情対応や個人情報保護等について含む）を毎年行い、職員の資質向上を図っている。

定められた消防訓練の他に自主訓練の実施等を含め、危機管理の体制づくりがされている。

### ・個人情報保護について

個人情報保護の方針やマニュアルが整備され、適切な取り扱いがされている。

## 2 公の施設のサービス向上及び経費削減

### ・利用者に対するサービス向上について

スムーズな料金の支払いができるように支払方法を改善したことで、結果、利用者のプレー時間が増えることに繋がった。

運動貯金カード導入2年目。施設を利用することでポイントを付与し、一定数のポイントになると利用料金の割引を行う。施設利用リピーターへの還元となっている。

施設を安全に利用できるように手すりを設置する（市民体育館）など環境整備を行った。

スポーツ教室について、利用者ニーズを把握することで新規教室の開設や、従来ある教室についても参加しやすいように改善と工夫を行うことで新たな展開を図った。

行政と連携した健康教室の開催等で、協働のまちづくりに協力している。

・経費削減について

これまでに培ったコスト削減のノウハウを活かしながら、継続して施設管理経費の削減に取り組んでいる。（光熱水費の日常点検を行うことで節水節電を徹底。石嶺プールのオーバーフローの管理や空調機を作動させる場合、各箇所を時間差で起動することでの電力基本料金の削減など）

### 3 団体の概要及び管理運営能力（経営状態）

- ・昭和21年に設立され、平成14年に沖縄県の体育協会ですべて初めてNPO法人を取得。
- ・27のスポーツ加盟団体を擁し、様々なスポーツ大会や講習会などを開催し、那覇市民の健康づくりやスポーツ、レクリエーションの普及・振興を図る活動を行っている。地域に根差した生涯スポーツの浸透を担っている。
- ・指定管理業務について蓄積されたノウハウをもとに、年々、安定した維持管理を行っている。